

さかなかな

2026 春

Vol.129

特集

水族館の獣医

- 水族館トピックス
- 水族館アカデミー ダーウィンの箱
- ほねほね探検隊
- ボランティア便り
私の館内おすすめポイント
- 水族館スクールレポート
- アクアリウム・ダイアリー

名古屋港水族館

水族館の獣医

名古屋港水族館の動物の診療を担当してくれているのは神尾獣医と小谷獣医の2名です。大きく分けると北館と南館の診療があり、それぞれ二人に担当してもらっていますので、どんなことをやっているか紹介してもらいましょう。

北館の生き物たち

飼育展示第三課
神尾 高志

名古屋港水族館北館では、シャチ、ベルーガ、バンドウイルカ、カマイルカの4種の鯨類を飼育しており、彼らの健康維持のため、血液検査をはじめとする定期的な健康診断を実施しています。検査で異常が認められた場合には、現場のトレーナーから得られる食欲、行動、体温などの情報と検査結果を総合的に評価し、検査結果のみに依存することなく、状況に応じた適切な治療方針を判断します。体調を崩した個体に対しては追加検査を行い、気管支鏡検査、内視鏡検査、レントゲン撮影、バイオプシーなどを通じて原因を明らかにし、「どこ」が「何」によって障害されているのかを評価します。

イルカたちの健康管理においては、これまで経験したことのない病態に直面することも少なくありません。そのような場合には、専門家への相談や文献調査を行い、試行錯誤を重ねながら原因究明に努めています。尾びれが進行性に壊死したバンドウイルカでは、真菌感染が原因であることを特定し、壊死の進行を抑制することに成功しました。また、皮膚潰瘍が拡大したベルーガでは、投薬と創部ケアを併用することで治療に至りました。これらの経験から、「諦めず、必ず治す」という姿勢の重要性を強く実感しています。

このように名古屋港水族館では、日常的な健康診断と丁寧な観察を基盤とし、確かな根拠と粘り強さをもって、イルカたちの健康管理に取り組んでいます。



+ シャチの採血風景

鯨類の採血は尾びれの血管から行います。シャチをはじめ、名古屋港水族館のイルカたちは、毎月定期的に健康チェックを受けています。こうした検査によって、見た目だけではわからない体調の変化や異常を早期に見つけることができます。



+ ベルーガの潰瘍治療

治療前



7か月間、根気よく治療を行うことで傷を治すことができました。



南館の生き物たち

飼育展示第三課
小谷 由佳子

みなさんは、魚にどのように薬を投与するか知っていますか？名古屋港水族館の南館では、鯨類以外の様々な生き物を飼育しています。大きな群れで泳ぐイワシをはじめとした魚、ゆったり泳ぐウミガメ、白黒模様がかわいいペンギンなど、種類も大きさも全く異なります。水族館で働く獣医師は、それぞれの特徴に合わせて検査や治療をしていきます。

南館での獣医の出番は、生き物に異変が見つかった時です。状態を確認し、必要な検査を行って治療方針を決定します。魚やウミガメ、ペンギンも、薬が必要になることがありますが、薬だけを飲ませることは簡単ではありません。そのため、ウミガメやペンギンでは餌の中に薬を入れて気付かれないように食べさせます。魚の場合は、注射や薬浴（入浴剤を入れたお風呂に魚を入れるイメージ）を行って治療をします。

治療の効果は食欲や行動の変化などで評価していきますが、見た目だけでは判断が難しい場合もあります。そのようなときは、血液検査をして判断します。ヒトでは腕から採血をしますが、ウミガメは首、ペンギンは足、魚は尾びれの付け根から採血します。炎症や貧血、内臓の働き、栄養状態など、検査項目はヒトで調べるものと共通していますが、正常値は生き物によって大きく異なるため、慎重な判断が必要です。血液検査以外にも、エコー検査やレントゲン検査を行い、必要に応じて麻酔をかけた処置も行います。

このように南館では、それぞれの生き物に合わせた方法で検査や治療を行っています。これまでに積み重ねてきたデータや研究を参考にしながら、より適切な治療ができるよう日々取り組んでいます。



+ 魚類の薬浴

薬の種類によっては、まるで入浴剤入りのお風呂に入っているように見えます。



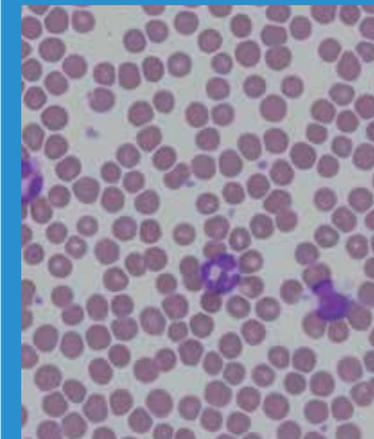
+ ペンギンの採血

ペンギンの採血では、獣医が採血しやすいように飼育係（写真左）がペンギンを「保定」します。

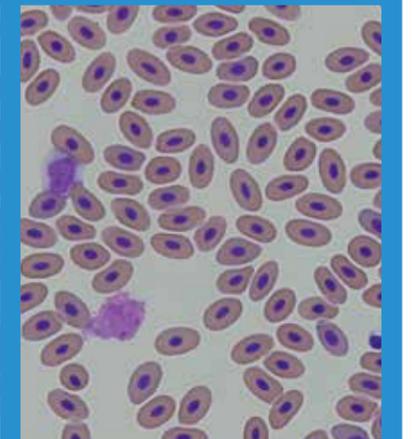


+ 血球の違い

バンドウイルカなどの哺乳類の赤血球（写真左）は核がなく円形ですが、南館で飼育する魚、ウミガメ、ペンギンの赤血球（右）には核があり楕円形をしています。哺乳類用の検査機器では測定できない項目もあるので、南館では細胞を一つずつ数えて検査しています。



バンドウイルカの血液



ジェンツーペンギンの血液

「ベルーガトーク」が始まりました

2026年2月3日より、平日限定の新イベント「ベルーガトーク ～二つの窓を行ったり来たり～」が始まりました。

このイベントの魅力は何と言っても、ベルーガの全身を間近で観察できることです。水中窓1枚隔てたすぐ目の前にベルーガを呼び、体のつくりを紹介するとともに、口や鼻から空気の輪を出すバブルリングやエンジェルリングなどの水中ならではの種目を披露していきます。

そしてこのイベントには、ベルーガの飼育管理の上でも良い効果を期待しています。ベルーガの健康管理や適度な運動、頭の体操を目的として毎日トレーニングを行っています。陸上にいるトレーナーとのトレーニングが中心となります。そこで、普段から水中窓2つを使うことで一層変化に富んだトレーニングが可能になると考えています。

平日の落ち着いた空間で、じっくりとベルーガとのひとときを過ごしてみたいはいかがでしょうか。



ベルーガトークの様子

■ 飼育展示第三課 大友 航

アニマルウェルフェアに関するセミナーを開催しました

2月10日・11日の2日間、日本動物園水族館協会（JAZA）主催のアニマルウェルフェア研究部セミナー「水棲生物のウェルフェア—基本と実践—」が開催されました。本セミナーは加盟園館の職員を対象に、会場とオンラインを併用した形式で実施され、会場は25名、オンラインでは約60名が参加しました。

講師として、オーストラリアから魚類ウェルフェアの専門家ローラ・シモンズ氏を招き、日本からは京都市動物園の山梨裕美氏と当館の神田幸司氏が登壇しました。さらに、京都水族館館長の大山卓司氏を交えたパネルディスカッションでは、海外での水棲動物のウェルフェアの考え方や、日々の飼育現場での具体的な取り組みについて活発な意見交換が行われました。

魚をはじめとする水棲動物のウェルフェアは、近年、研究や実践が急速に進展している分野です。本セミナーをきっかけに、より良い飼育環境づくりに向けた取り組みが一層進むことが期待されます。



パネルディスカッションの様子

■ 飼育展示第二課 加古 智哉

富士山を望む海で～駿河湾深海採集～

今年の2月上旬、静岡県駿河湾にて底引き網漁船に乗船し、深海生物の採集を行いました。

当日は波も穏やかで、船上からは全体を見渡せることのできる富士山をはっきりと望むことができました。早朝5時半に出航し、約7時間の操業で網を3回曳きました。水揚げされた生物の中から展示に適した個体を選定し、トラックで約3時間半かけて名古屋港水族館へ搬送しました。

深海生物は体が柔らかく繊細な種が多く、光や水温の変化にも弱いので、個別の容器に収容し、光を避けながら慎重に運び、水槽へ収容します。

今回の採集では、飼育が難しいことで知られるメンダコや、生きたまま揚がるのが珍しいホテイエソなども搬入しましたが、残念ながら展示には至りませんでした。深海生物の採集、搬送および飼育方法の確立は依然として大きな課題であり、今後も技術の向上に努めていきます。

搬入したミノエビやツノモチダコなどは深海ギャラリーにて展示しています。ぜひご覧ください。



昨年は展示に至らなかったミノエビ。今回は深海ギャラリーでの展示が実現しました。

■ 飼育展示第一課 尾田 愛実

水族館トピックス

2026 春

ワークショップ「ウミガメから学ぶ海洋プラスチック問題」を開催しました!

2月11日（水祝）に、「ウミガメから学ぶ海洋プラスチック問題 ～海洋プラスチックを再利用!! ワクワク プラモデル組み立てワークショップ～」を開催しました。

このイベントは、地場産業のプラモデルを活用して環境教育活動を実施する静岡市と名古屋港水族館が協働し、海洋プラスチック問題を啓発するというもので、その内容は

- ①水族館職員によるウミガメと海洋プラスチックのレクチャー
- ②静岡の海岸の砂に含まれるマイクロプラスチックの観察
- ③静岡市のプラモデル企業の取り組み紹介
- ④海洋プラスチックを含む素材で作られたプラモデルの組み立て
- ⑤海洋プラスチック問題に関する行動宣言、と盛りだくさん。

参加者（95名）の行動宣言では「みんなで海をきれいにしたい!」「ポイすてをしない!」「3Rを守って、海も陸も守る!」「きちんとゴミを分別します!」といった熱いメッセージが寄せられました。

海の環境保全を考える良い機会になったのではないのでしょうか。



完成したプラモデル（全長約20cm）
素材には、海岸で回収されたペットボトルなどの海洋プラスチックが含まれています。

■ 学習交流課 加藤 浩司



ペンギンの浮気調査!?

—DNAで調べた本当の親子関係—

飼育展示第三課 材津 陽介

「おしどり夫婦」という言葉があるように、鳥は一度つがいになると一生連れ添う存在だと思われがちです。ペンギンも、一羽のオスと一羽のメスが仲睦まじく協力して卵を温め、ヒナを育てる一夫一妻制の動物というイメージを持つ人が多いのではないのでしょうか。

近年、こうしたイメージとは異なる一面が明らかになってきました。一見仲の良いつがいに見えても、メスがつがい以外のオスと交尾をする「つがい外交尾」が起きていることがわかっています。さらにDNAを用いて親子関係を調べると、実際にヒナを育てている父親と、遺伝的な父親が異なる「つがい外父性」が、複数の種で生じていることが明らかになっています。

日本の動物園や水族館では個体ごとの親子関係を記録した血統登録が行われています。この血統登録の情報をもとに、近い血縁同士の繁殖を避けるなど、計画的な血統管理が進められています。これまでの血統登録は、繁殖期と一緒に行動し、卵を温めたりヒナを育てたりしているつがいを親と判断するなど、行動観察にもとづいて作成されてきました。しかし飼育下において、つがい外父性が生じている場合、行動観察のみにもとづいた血統登録では、親子関係が正確に記録されていない可能性があります。そのため、飼育下でどの程度つがい外父性が生じているのかを把握することは、正確な血統管理を行ううえで重要です。



ジェンツーペンギンの親子

オス親、メス親が協力して子育てをします。育てているヒナは本当に自分の子でしょうか？

そこで全国の動物園・水族館・岐阜大学と協力し、国内で飼育されているジェンツーペンギンを対象にDNA解析を行い、親子関係を詳しく調べました。その結果、つがい外父性が3例(2.2%)確認されました。この結果は野生のジェンツーペンギンで報告されている48.75%という高い割合と比べると頻度は低いものの、DNA解析が血統登録の正確さを確認するうえで有効であることがわかりました。

現在、ジェンツーペンギンに加えて、アデリーペンギンやヒゲペンギンでも同様の解析を進めています。今後、種ごとにつがい外父性の起こりやすさに違いが見られれば、血統管理への応用だけでなく、ペンギンそれぞれの繁殖戦略や生き方の違いについても明らかになるかもしれません。



ペンギンの尾羽の軸

DNAの分析には羽毛や血液を使用しました。サンプル採取は、各動物園・水族館のご協力のもと行い、DNA解析は岐阜大学の協力を得て実施しました。

ほわほわ探検隊



チリメンナガクビガメの首の骨

飼育展示第一課 松本 智美

オーストラリア北部とニューギニアに生息しているチリメンナガクビガメは、名前のおり長い首を持つことが特徴です。私たち人間をはじめ哺乳類の頸椎(首の骨)は7つですが、爬虫類であるカメの仲間は頸椎が8つあります。

チリメンナガクビガメはこの首を甲羅の縁に沿わせるようにして頭を隠し、身を守ります。



ボランティア便り 私の館内おすすめポイント Volunteer News

北館2階 ベルーガ水槽

ボランティア 前田 博美

入館してすぐ左の水槽にいる、真っ白なベルーガ(シロイルカ)。

いつも優しい笑顔で迎えてくれますが、実は日本で4か所しか会えない貴重な生き物です。

笑顔の秘密は、お口の周りがとっても柔らかく器用なこと。人間のように水を吹いたり、バブルリングを作ったり、不思議な方法でお魚を食べたり、と愛嬌たっぷり!

2階では新たなトークイベントも開催中。夏頃には赤ちゃんに会える可能性も。

ぜひ、ベルーガたちの魅力に癒やされに来てください。



平日開催の新しいイベント「ベルーガトーク」、ぜひ見に来てください。(詳細は3ページをご覧ください)

水族館スクールレポート School Report

共同研究講演会を開催しました

海洋生物研究センター 小林 清重

2月8日、京都大学ヒト行動進化研究センター(高次脳機能分野)の研究員・三田歩先生をお迎えし、講演会「シャチは世界をどう見ているのかへの挑戦」を開催しました。事前申込制で実施し、当日は132名の皆さまにシネマ館でご参加いただきました。

当日は降雪の影響もあり、関西や関東など遠方からお申し込みいただいた方の中には、残念ながら来館を断念された方もいらっしゃいましたが、会場は講演内容への期待と関心に満ちた熱気に包まれました。

三田先生は比較認知科学をご専門とされ、当館とは2019年度より、飼育下のシャチが目で見えたものをどのように識別しているのかを明らかにする視覚認知の共同研究を行ってきました。

講演では、水に囲まれた環境で暮らすシャチがどのように世界を認識しているのかについて、実際の研究事例や楽しいエピソードを交えながらわかりやすくご紹介いただきました。講演後の質疑応答も大変活発で、参加者アンケートには「知らなかったことを学べた」「研究の過程を知ることができて興味深かった」「シャチの視覚研究にますます関心が湧いた」など、多くの嬉しい感想が寄せられました。

名古屋港水族館では、今後も大学や研究機関との共同研究の成果を、皆さまにわかりやすくお伝えする機会を設けてまいります。次回の開催にもぜひご期待ください。



参加者の皆さんは広い会場での大画面に見入っていらっしゃいました。



講師の三田先生です。

アクアリウム・ダイアリー

2025年12月～2026年2月

催し物

- 12月2日～12月6日、27日、28日 「大きなあれ!極地ペンギンのヒナの体重測定」
ナイトウォッチング
- 12月16日～2月10日 季節展示「干支展(午)」ウマツラハギ
バレンタイン/ホワイトデー企画展示「ハナゴイ」
ウミガメから学ぶ海洋プラスチック問題
～海洋プラスチックを再利用!! ワクワクプラモデル組み立てワークショップ～



ウマツラハギ

【水族館スクール“もっと知りたい!ダーウィン教室”】

- 12月14日 「実践!磯の生き物 観察入門」 参加者5組14名
1月11日 「プランクトンみつけた めざせ顕微鏡マスター」 参加者7組16名
2月15日 「ただよい生きるクラゲの不思議」 参加者4組13名

生物の出来事

- 1月11日 ペンギン巣立ち完了今期繁殖数:
ジェンツー1羽/アデリー1羽/ヒゲ2羽
2月5日 駿河湾(戸田沖)深海底引き網採集
- 2月24日～2月25日 ハナビラウオ展示開始(初展示)
駿河湾(興津沖)かご網採集

来訪者

- 12月10日 JAA顧問 諸貫秀樹様 他1名
12月24日、1月5日 名城大学 檜崎友子助教(ペンギン心電図測定実験)
2月10日、18日 基礎生物学研究所 城倉圭氏
- 2月20日 近畿大学 酒井麻衣准教授 他1名
2月28日 常磐大学 中原史生教授
2月28日 東海大学 西川淳教授、大泉宏教授

講演・その他出来事

【講演など】

- 12月2日～3日 中部ブロック獣医師研究会(伊豆シャボテン公園) (参加:神尾高志)
12月4日～6日 JAZA生物多様性委員会 種保存会議(出席:栗田正徳)
12月9日 JAZA理事会(出席:栗田正徳)
12月15日～16日 東大大気海洋研水族館シンポジウム(発表:松田乾)
12月22日 JAAトレーニングトーク(オンライン)
(参加:材津陽介、加古智哉、榊原正己)
1月27日～28日 JAZA水族館飼育技術者研究会(発表:森昌範、尾田愛実)
1月30日～31日 第66回日本動物園水族館教育研究会いわき大会
(アクアマリンふくしま)(発表:加古智哉)
2月3日～5日 JAZA動物園技術者研究会(アドベンチャーワールド)
(発表:大島由貴、ポスター発表:小谷由佳子)
2月8日 令和7年度 名古屋港水族館共同研究講演会
「シャチをどう見ているのか、への挑戦」
(講師:三田歩博士/京都大学ヒト行動進化研究センター 高次脳機能分野)
2月10日 JAZAアニマルウェルフェア研究部セミナー
「水棲生物のウェルフェアー基本と実践」
- 2月22日～23日 京都大学野生生物研究センター
動物園水族館大学シンポジウム
(ポスター発表:森昌範)
2月25日 JAAトレーニング勉強会(オンライン)(参加:森朋子)
- 【講師派遣】
12月2日 愛知県老人保健施設協会管理者研修会
(加藤浩司)
12月11日 名古屋市立五反田小学校(市川隼平)
1月21日 名古屋市立久方中学校(小倉仁)
- 【職場訪問・水族館レクチャー(オンライン含む)】
30件 1,499名
- 【職場体験】
2件 4名

編集後記

今から20年ほど前の「さかなかな」。

当時はページ数も多く様々な企画ページがあり、中には読者がゲストとして飼育係の解説を受ける特集などもありました。先日、その頃のさかなかなの特集に当時中学生として登場してもらった方から久しぶりに電話があり、当時の思い出話を語ってもらい、大いに盛り上がりました。「いくつになっても名古屋港水族館の大ファンです!」それを聞いて、この仕事をやっていて本当によかったなぁと少し涙ぐんでしまいました。(加藤)

表紙写真

ヒゲペンギンの親子

雛(左)が親(右)に餌をねだっています。親は食べた餌を吐き戻して雛に与えます。雛が大きくなるにつれて要求される餌の量も増えるため、飼育係は親が十分な餌を食べることができるように、意識して餌を与えています。

ニュースレター さかなかな Vol.129 2026年 春
発行/公益財団法人 名古屋みなと振興財団 名古屋港水族館
〒455-0033 名古屋市港区港町1番3号 TEL.052-654-7080
URL <https://nagoyaaqua.jp>
本誌の掲載記事、写真等の無断複写・複製転載を禁じます。

WEBサイト
<https://nagoyaaqua.jp>
(なお、一部の機種でご覧いただけない場合があります)

